

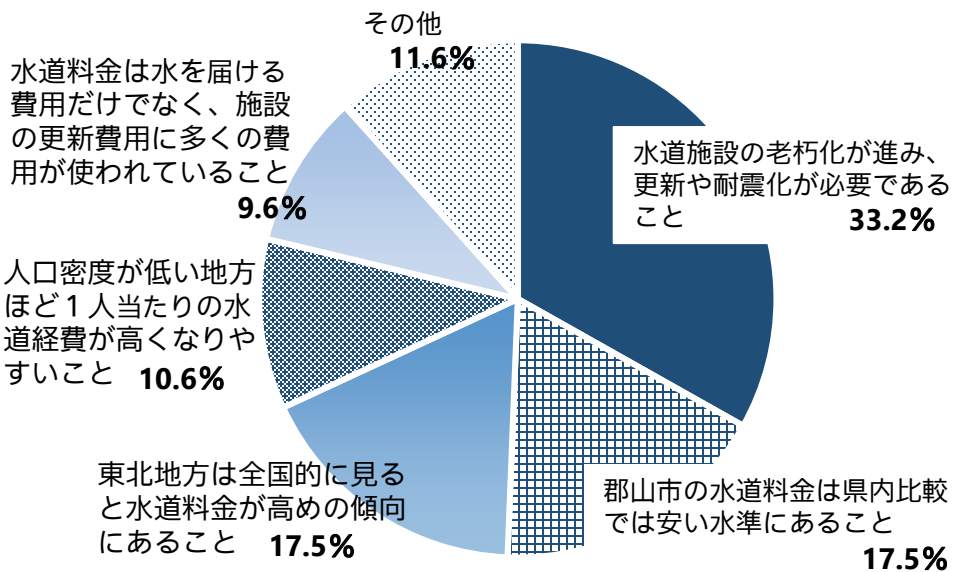
本市の上下水道事業について、料金や施設整備状況等に関する市民の皆さまのニーズを把握し、効率的経営の実現及びお客様サービス向上等の参考とするため、アンケートを実施しましたので、その結果の概要についてお知らせします。

今回は、上下水道局発行の広報紙「こちら郡山じょうげすいどう局 vol.7」を予めお読みいただいた上で、回答をいただきました。

調査概要

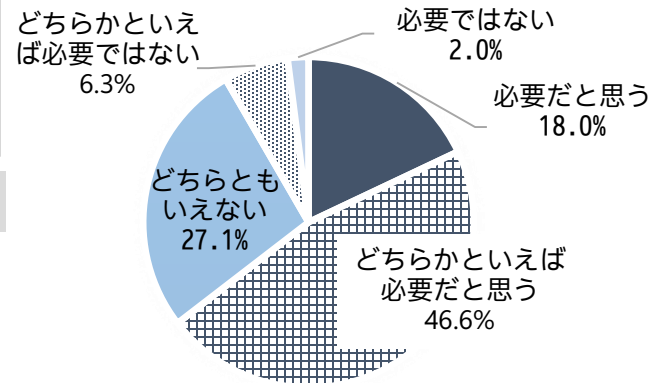
○ 調査期間	2026年8月7日（金）～8月16日（日）（10日間）
○ モニター数	508名（男性225名 女性283名）
○ 回答者数	395名（男性175名 女性220名）
○ 回答率	77.8%

問 広報紙を読んで、最も印象に残った内容はなんですか。（1つ選択）



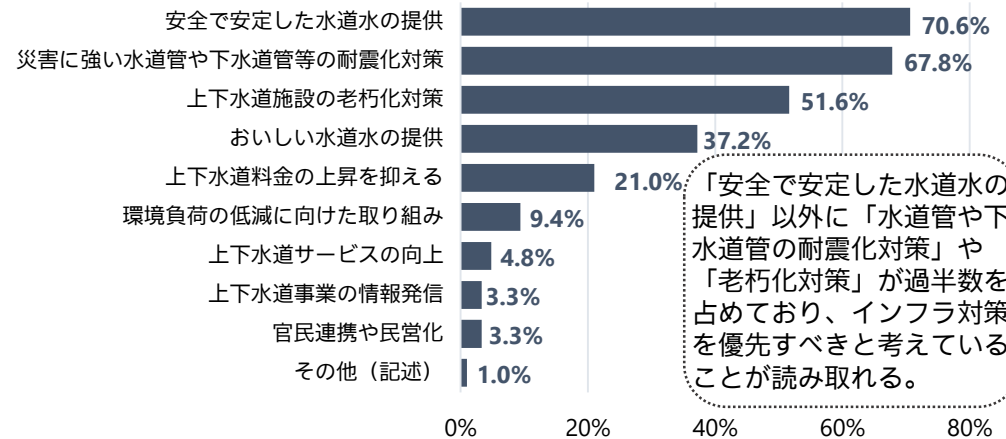
広報紙を読んで、全体の3分の1を占める方が、「水道施設の老朽化が進み、更新や耐震化が必要であること」が最も印象に残ったと答えた。次いで、「郡山市の水道料金は県内比較では安い水準にあること」、「東北地方は全国的に見ると水道料金が高めの傾向にあることが」17.5%で続き、他の地域との料金比較に関心が示された。

問 今後、水道施設の老朽化対策や耐震化を進めるために、将来的な水道料金の値上げなど、ある程度の費用負担は必要だと思いますか。（1つ選択）



「必要だと思う」が18.0%、「どちらかといえば必要だと思う」が46.6%で計64.6%となっており、6割を超える方がある程度の費用負担は必要だと考えていることが読み取れる。

問 上下水道局として、今後優先的に実施すべき取り組みは何だと考えますか。（3つまで選択）



「安全で安定した水道水の提供」以外に「水道管や下水道管の耐震化対策」や「老朽化対策」が過半数を占めており、インフラ対策を優先すべきと考えていることが読み取れる。

考察

今回の調査では、優先すべき取り組みとして、水道水の安全・安定供給（70.6%）、耐震化対策（67.8%）、老朽化対策（51.6%）など上下水道施設の強靱化対策が上位を占め、将来的な水道料金の費用負担に対しても、6割以上（64.6%）の市民が「必要（どちらかといえば必要を含む）」と考えていることが分かった。

以上を踏まえ、今後も将来的な更新費用と、それを賄うための水道料金・下水道使用料の仕組みについて、さらなる情報発信に努めていく。